

Voice



現場の仕事をしたくて コンサルタントに

私は国の開発は道路作りから始まると思っていたので、ネパールの大学で交通計画や道路設計を専攻しました。大学の近くにはJICAの協力でできた交差点と橋があり、品質レベルが高くきちんと維持管理されていました。日本に留学したのは、こういうしっかりしたものを造ることができる国で学びたいと考えたからです。

博士課程を終えた後は、研究者として大学に残るか、国際機関で働くという選択肢もありましたが、途上国の現場で自分の技術や知識を活かしたいと思い、開発コンサルタントに応募しました。指導教官の「アジア人だからアジアの人たちに貢献したら」というアドバイスも背中を押してくれました。KEIは交通分野に強く、現場もアジアからアフリカまで幅広い。私の希望にぴったりだと思い、ここに決めました。

パンタ ポジュ ラジュさん
開発業務本部 次長

片平エンジニアリング・
インターナショナルに
入社

愛媛大学大学院
理学工学研究科
生産環境工学専攻
(博士)修了

アジア開発銀行の
奨学生として来日
埼玉大学大学院
理学工学研究科
環境システム工学専攻
(修士)修了

ネパールでドイツ・イギリス
が支援した案件で
道路技師として働く

トリバン大学
土木工学科卒業

道路の維持管理の 大切さを伝える

現在はインドネシアの地方道路維持能力向上プロジェクトとベトナムの道路資産管理プロジェクト（アセットマネジメント）に関わっています。ベトナム案件ではこれまでに、JICA案件およびJICAの支援(技術協力プロジェクト)の完了後、その成果も利用しながら続いている世界銀行が実施しているプロジェクトを担当。道路は公共インフラであり国の資産です。長く使えるよう維持管理が必要だということを人々に理解してもらうための研修と、道路維持管理計画作成を担当しています。

現場では文化や生活環境も違い苦労も多いですが、相手国のために頑張ろうと考えています。研修で現地の方から良い感想をもらうなど結果が出た時はうれしいですね。

ベトナムの国交省から表彰状をもらったときは、それまでのつらいことなどすべて忘れてしまいました。

若い人にはどんな経験も無駄にはならないと伝えたいです。



ベトナムで道路維持管理についての
実地研修の様子

Work

株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル



設立：1987年
資本金：5,000万円
従業員：120人
本社：東京都中央区
海外拠点：フィリピン、ベトナム、スリランカ、カンボジア、ケニア
事業分野：インフラ、民間セクター、都市開発、防災、ICT、資源・エネルギー、環境、気候変動、貧困削減、平和構築
募集職種：開発コンサルタント(交通計画、道路・橋梁計画/設計、地域開発、環境社会配慮などの専門家を目指す者)
募集人数：若干名
住所：〒104-0041
東京都中央区新富1-14-1
いちご八丁堀ビル3階
Tel：03-6280-3500
Mail：kei-tokyo@katahira.com
HP：http://www.katahira.com



CIMを用いたマラウイ国リロングウェ市の
橋梁モデル図

交通インフラから
温暖化まで幅広くカバー

即戦力の経験者と
意欲のある若手を積極採用

片平エンジニアリング・インターナショナル(KEI)は1987年に運輸交通部門の海外専門コンサルタントとして設立された。「技術者によるプロフェッショナルなグループを形成し、発展途上国の社会・経済の発展・成長に寄与していく」を理念に掲げ、アジアやアフリカをはじめとした海外65カ国において、900件以上の政府開発援助案件に参画してきた。

KEIは、貧困削減など新規分野の課題に積極的に取り組んでいる。こうした業務拡大に伴い、各分野で即戦力となる人材を常に求めている。既卒者の応募条件は、募集職種で国内における経験5年以上を有すること。一方、新卒者にも門戸を開いており、経験は浅くても素質のある優秀な人材を自社で育てていくことにも力を入れている。新卒者の場合、入社後は研修やOJTを通じて経験豊富な上司から指導を受ける。

KEIの三石隆雄代表取締役は「優れた能力を持ち、斬新な発想と積極性、協調性にあふれた人材の確保は不可欠です。意欲のある方々の大いなる活躍を期待しています」と話す。

応募書類は随時受け付けている。同社ウェブサイトにも多数掲載されている社員の体験談を参考にしてほしい。